



今は耐えるときです

心を一つにみんなでがんばりましょう！！

131人の子どもたちを迎え、新学期がスタートしたのですが、4月15日（水）から再び休校となってしまいました。

子どもたちは「今年は勉強をがんばろう」「運動をがんばろう」「友だちといっぱい遊ぼう」など「やる気」と「楽しみ」をいっぱいもっていたことだと思います。同じように教職員も「こんな学級をつくろう」「子どもたちと一緒に、がんばろう」と、意欲をもっていました。

今「何がきついか」、それは、ゴールが見えないことです。いつ新型コロナウイルス感染が収まるのか……。いつ日常の生活ができるのか……。いつ通常の学校生活ができるのか……。誰にも予想がつかないことです。

休校に入る前日、4月14日は、4年前に熊本地震の前震があった日でした。あの時も、「この先どうなるのだろうか」、「熊本はもとにもどるのだろうか」、「また地震があったら子どもたちをどう守ろうか」など、先が見えない不安がありました。子どもたちの命を守るために、集団下校をしたり、校舎の点検をしたりと学校でも対応をしました。幸い天草は、大きな地震の被害はありませんでした。

しかし、東京では連日100人を超える感染者の報告があり、全国では1万人を超えました。熊本県においても増加傾向にあります。全国に緊急事態宣言が出され、不要不急の外出を控えるよう要請があっても週末には「天草は大丈夫だろう」「気分転換を」など安易な気持ちで天草を訪れている人がいます。そして、ゴールデンウィークもその可能性は続きます。だから、天草でもいつ発生してもおかしくないという危機感をもっておく必要があります。

あの熊本地震から、復興半ばですが、今の熊本があります。私の好きな歌に「夜明けのこない夜はないさ……」という歌詞があります。きっと、日常の生活がもどってくると信じてがんばりましょう。そして、こんな時だからこそ、入学式で1年生の保護者の方に話したのですが、「耐える心」「思いやりの心」「互いに支え合

う心」が育ち、豊かな心を持った子どもたちになってくれるはずです。学校、家庭、地域で互いに支え合いながらみんなで一緒にがんばりましょう。

今は子どもたちの「命」を守ることを一番に考え、子どもたちのために今できることを考えて取り組んでいくことが必要です。学校再開まであと10日間、ご家庭でも以下の点にご配慮いただきますようお願いいたします。



- 1 十分な睡眠（早寝・早起き）、適度な運動、バランスのとれた食事（三食きちんと食べる）など、規則正しい生活を心がける。
- 2 学習、読書、運動（なわとび、ジョギング、散歩）、家の仕事（手伝い）を時間を決めて行う。
- 3 「換気の悪い密閉空間」「多数が集まる密集場所」「間近で会話や発声をする密接場面」の3つの密が重なる場所へは外出を控え、基本的に自宅で過ごす。
- 4 外出時のマスク着用、家での石けんでの手洗い、うがい、換気など、感染予防をしっかりと行う。



龍っ子のみなさん、必ず、新型コロナウイルスの感染も終わり普通の生活ができることを信じて、何をしなければいけないのか一人一人が考えて行動しましょう。5月7日の学校再開の時には、元気に笑顔で登校してください。待っています。